

さぬき市教育委員会

さぬき市立寒川小学校

1 実践のテーマ

地域への愛情と誇りを育むふるさと教育の推進

2 目標

- (1) 総合的な学習の時間や生活科、教育活動全般で、地域に学ぶ学習を進め、ふるさとのよさを感じることができる児童の育成を図る。
- (2) 地域ボランティアの方々を「感謝の集い」に招待し、日頃の感謝の気持ちを伝え、交流を深める。
- (3) 児童会を中心にあいさつ運動を継続し、校内はもちろん、地域の方々にも笑顔で元気にあいさつができる優しい心をもつ児童の育成を目指す。

3 内容

【校区内の高校生との田植え・稻刈り・餅つき体験】 【天王山古墳学習と是弘遺跡の見学・発掘体験】



地元の石田高校に協力いただき、田植え、稻刈り、餅つき体験を一緒に行つた。校区は田園が広がる地域であり、地域の大事な産業である農業についての理解が深まった。

本校に隣接する古墳について、さぬき市文化財保護協会などに教授いただいている。近隣の高校建設予定地で見つかった是弘遺跡を見学し、発掘体験も行った。

【地域ボランティアを「感謝の集い」に招待】



日頃、登校の見守りや読み聞かせでお世話になっているボランティアの方々を招待し、全校生が歌や合奏、花などのプレゼントをし、感謝の気持ちを伝えた。

【あいさつ運動と地域ボランティアによる「あいさつ表彰】



地域の方々に元気よくあいさつをしようと、児童会を中心にあいさつ運動を行っている。年度末には地域の方から「あいさつ頑張り賞」を表彰していただいた。

4 成果と課題

- 地元の高校と交流して行った農業体験や、隣接する古墳、偉人、遺跡学習など、総合的な学習の時間や生活科、教育活動全般を通してふるさと寒川のよさを感じることができ、「寒川（自分・友達・学校・地域）が好きな子ども」を育てることに繋がった。
- 地域の方々に感謝の気持ちを伝える集いを行うことで、地域の方々を大切にしようとする気持ちを再認識し、交流を深めることができた。
- 地域の方々に自分たちからあいさつができるように育てている。現在と未来のふるさとのために、自分たちにできることに気づき、考え、実行する児童を育んでいる。